

平成20年4月8日

各位

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号



平成20年上期の金属製品の生産予定について

品目	単位	平成20年上期 生産予定	平成19年下期 生産実績見込	平成19年上期 生産実績
銅	t/期 (t/月)	303,900 (50,650)	306,200 (51,033)	307,100 (51,183)
硫酸	t/期 (t/月)	847,800 (141,300)	759,900 (126,650)	771,300 (128,550)
金	kg/期 (kg/月)	13,313 (2,219)	15,608 (2,601)	16,145 (2,691)
銀	t/期 (t/月)	155 (26)	162 (27)	161 (27)

以上

お問い合わせ先： パンパシフィック・カッパー株式会社
総務部 村山・小松崎
(TEL：03-3560-8600)

(付帯説明)

(1) 銅

上表は日鉱製錬(株)における銅生産量(全量)及び日比共同製錬(株)における銅生産量(P P C分)を記載。

日鉱製錬：19年上期実績	221,600 t	日比共同製錬：19年上期実績	85,500 t
19年下期見込	219,700 t	19年下期見込	86,500 t
20年上期予定	218,200 t	20年上期予定	85,700 t

平成20年度上期,日鉱製錬,日比共同製錬ともに対前期比約1%の減産となる予定である。

(2) 硫酸

上表は日鉱製錬(株)における硫酸生産量(全量)及び日比共同製錬(株)における硫酸生産量(P P C分)を記載。

日鉱製錬：19年上期実績	604,000 t	日比共同製錬：19年上期実績	167,300 t
19年下期見込	531,900 t	19年下期見込	228,000 t
20年上期予定	639,400 t	20年上期予定	208,400 t

平成20年度上期,日鉱製錬では,対前期比約20%の増産となる予定である。

日比共同製錬では,対前期比約9%の減産となる予定である。

(3) 金及び銀

上表は日鉱製錬(株)における金及び銀生産量(全量)を記載。

金については,原料調達状況に基づき,対前期比約15%の減産となる予定である。

銀については,原料調達状況に基づき,対前期比約4%の減産となる予定である。

以 上